

人を、想う力。街を、想う力。

三菱地所グループ



The Parkhouse

2013年4月4日

報道関係各位

三菱地所レジデンス株式会社

三菱地所レジデンス 海外住宅開発事業に新規参入

中国・成都市(四川省)の大規模住宅開発事業への参画
中国、ASEANエリアを中心に積極的な事業獲得を目指す

三菱地所レジデンスは、海外における住宅開発事業へ新規参入し、第一号プロジェクトとして三菱地所とシンガポールのCapitaLand Township (旧: Surbana) 社が手掛ける、中国四川省成都市での大規模住宅開発事業に参画します。本事業は成都市の龍泉駅区において、約7.5haの敷地に総戸数約3,400戸の住宅や商業施設等の開発を行うもので、当社は、3月29日(金)現地プロジェクト会社に出資するために三菱地所が組成したSPCの持分の一部を取得する契約を締結いたしました。当社と三菱地所が連携してプロジェクトに取り組むことにより、海外におけるマンション開発ノウハウを蓄積するとともに、国内マンション事業で培ったノウハウを活かした開発の実現を目指してまいります。

当社は4月1日より「海外事業推進室」を「海外事業室」に改称し、海外事業に本格的に参入する体制を強化しました。また、三菱地所が設立し、4月1日付で営業を開始した上海の現地法人「三菱地所(上海)投資諮詢有限公司」に人員を派遣し、三菱地所と連携しながら海外事業の拡大を目指します。三菱地所グループでは、2020年度までに海外事業の営業利益を全体の20%まで高めることを目標としており、当社もアジアを海外事業の重点エリアとして位置づけ、中国、ASEANエリアを中心に積極的に事業を推進してまいります。

【プロジェクト概要】

所在地：中華人民共和国 四川省成都市龍泉駅区大面街道（市中心部より約15km、車で約30分）

敷地面積：約75,000㎡

規模・構造：住宅、商業施設他

総住戸数：約3,400戸

着工：2012年12月



▲完成予想CG

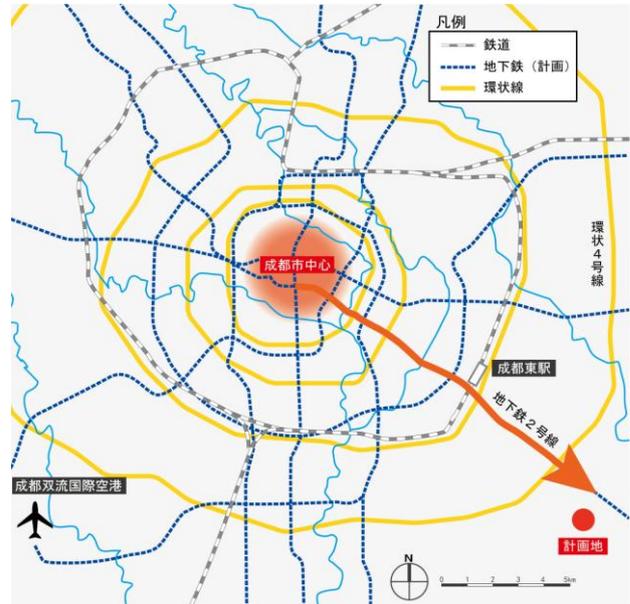
■本プロジェクトの特徴

【開発エリア・成都市】

成都市は、古くから中国西南部における政治・経済の中心地として発展を遂げ、2000年から始まった中国政府が推進する西部大開発の拠点として更なる成長が見込まれており、急速な経済成長と都市化を背景とした住宅市場の実需の伸びが期待できる都市です。人口1,000万人を超える大都市であり、米誌フォーブスが2010年に発表した「今後10年間で世界で最も成長する都市ランキング」で第1位、ジョーンズ・ラング・ラサールが2012年3月に発表したレポート「China 50;これから有望な中国50都市」でも第1位となるなど、今後益々の成長が期待されています。



▲成都地図



▲交通アクセス図

【プロジェクト概要】

本プロジェクトの計画地が所在するエリアは、市中心部から南東約15km、環状4号線の外側ほど近くに位置します。2014年までには計画地北側に市中心部へつながる地下鉄2号線が開通する予定であり、さらにホテル・商業・医療施設・ゴルフコース等の誘致が予定されています。また、住宅地としての成熟だけでなく、中国国内でも知名度の高い教育機関の誘致も予定され、新たな文教エリアとしても期待されています。

本プロジェクトは、約3,400戸のマンションや商業施設等からなる大規模複合開発事業です。



▲完成予想CG

